



ナビゲーション



ブース



イベント



ポスター

問い合わせ

Search



Wikipedia展覧会

2022年度 ブース

2022年11月、Wikipediaに関する（読むだけの貴方も含む）あらゆる個人・団体が、図書館総合展で発表できる機会を作ります！ 主催はあなた！！

みなさんの知識と経験を共有・アーカイブし、これから取り組む人々に届けましょう。



そうせきのねこ

ウィキペディア利用者: 漱石の猫

2018年1月に
Wikipedia日本語版に
編集参加

2022年7月までに
編集回数 約5,700回
新規作成 約50項目

ウィキペディアタウン
参加回数 約 80回
講師回数 約 20回
(個人レクチャーを除く)

活動地 田舎町と学校
生息地 おもに図書館



2020年3月 Wikipedia Town 沼津 #16



2020年11月 Wikipediatown@北杜



日本では、2013年2月22日に横浜で最初のウィキペディアタウンが開催された。ただし、これは、“まちあるき”＋“調べ学習”イベントであって、情報発信と二次的な活用以前の、Wikipedia編集者を増やすためのアウトリーチ活動として行われた。

この日本式ウィキペディアタウンは、その後全国に普及し、コロナ禍直前の2019年には年間100回以上開催。急成長期の2017年には、「地域情報資源を活用した公共情報資産の共創活動」として図書館界隈で高く評価され、Library of the Year優秀賞を受賞した。

2019年3月、裾野市の古墳の解説版に、Wikipedia記事にリンクするQRコードが貼りつけられ、これが、公式には「本来の意味でのウィキペディアタウン」の最初の例と位置付けられている。

2021年7月 ウィキペディアタウン@津市安濃町
(三重県立津高校・三重県立図書館等協力)

<https://www.anoulabo.com/wikipediatown> より



2021年10月 ウィキペディアタウン幸田
(愛知県立幸田高校・幸田市立図書館主催)

撮影者は「Asturio Cantabrio」



日本では、2013年2月22日に横浜で最初のウィキペディアタウンが開催された。ただし、これは、“まちあるき” + “調べ学習” イベントであって、情報発信と二次的な活用以前の、Wikipedia編集者を増やすためのアウトリーチ活動として行われた。

この日本式ウィキペディアタウンは、その後全国に普及し、コロナ禍直前の2019年には年間100回以上開催。急成長期の2017年には、「地域情報資源を活用した公共情報資産の共創活動」として図書館界隈で高く評価され、Library of the Year優秀賞を受賞した。

2019年3月、裾野市の古墳の解説版に、Wikipedia記事にリンクするQRコードが貼りつけられ、これが、公式には「本来の意味でのウィキペディアタウン」の最初の例と位置付けられている。

editTango 2019

公募企画 8回
その他 36回

- 4月 峰山町・こんぴら手づくり市で「エディタン見本市」
- 5月 峰山町・54マルシェで「エディタン見本市」
- 5月 網野町・琴引浜でウィキペディアタウン 【主催:琴引浜ガイドシンクロ】
- 8月 峰山町・こんぴら手づくり市で「エディタン見本市」
- 9月 峰山町・ウィキペディアにゃウンvol.2 【主催:こまねこまつり】
- 10月 与謝野町・「京都!街歩き!マッピングパーティ:第13回 ちりめん街道」(参加協力)
- 11月 弥栄町・地域NPOイベントで「エディタン見本市」
- 11月 大宮町・ウィキペディアタウン (ZIZOTOWN vol.1)
- 9~12月 与謝野町・「よさのwikipediaプロジェクト ちりめん街道」全4回(参加協力)

このほか、2月から網野町で月1回、峰山町で週1回の非公開編集相談会「ET(エディタン)ぷち」を開催



(左) FM放送でイベント広報をする主催者



(右) エディタン見本市で作成した記事を紹介するedit Tango参加者

edit Tango 2020

公募企画 10回
その他 19回

- 2月 「Wikigap by edit Tango 歴史に埋もれた丹後の女性たち」 【ウィキメディア助成金活用事業】
- 3月 網野町・「京都!街歩き!マッピングパーティ:第18回 浅茂川」【主催:山下康成氏】
- 5月 大宮町・ウィキペディアタウン (ZIZOTOWN vol.2)
- 5月 宮津市・上世屋 Wikipediaフォト部 (宿泊合宿)
- 7月 久美浜町・京丹後市高齢者大学一般講座「21世紀の伝承活動-地域の百科事典を作り、世界に拓く-
- 7月 網野町浜詰でウィキペディアタウン (主催) ㊦ETぶち50回目記念
- 7月 峰山町・「京都!街歩き!マッピングパーティ:第19回 丹後 金刀比羅神社」【主催:山下康成氏】
- 9月 峰山町・ウィキペディアにゃウンvol.3 【主催:こまねこまつり】
- 9月 網野町・「京都!街歩き!マッピングパーティ:第20回 夕日ヶ浦温泉郷」【主催:山下康成氏】
- 10月 網野町・「海と湖のウィキペディアタウン」 【主催:琴引浜ガイドシンクロ】
- 11月 「Wikigap by edit Tango 歴史に埋もれた丹後の女性たち」II

このほか、網野町で月1回、峰山町で1~3月まで週1回の非公開編集相談会「ET(エディタン)ぶち」を開催



(左) Wikigap参加をよびかける京都新聞 2月5日
(中) プチ企画50回記念のサプライズ・ケーキ
(右) 山下康成氏に協力いただいたマッピング講習

editTango 2021

公募企画 6回
その他 12回

- 2月 丹後町「ウィキペディアタウン宇川プレ」【主催:宇川スマート定住促進会議】
- 4月 丹後町「ウィキペディアタウン宇川」vol.1【主催:宇川スマート定住促進会議】
- 6月 網野町「海と山の3Qタウン」【主催:琴引浜ガイドシンクロ】
- 7月 丹後町「ウィキペディアタウン宇川」vol.2【主催:宇川スマート定住促進会議】
- 10月 峰山町「ウィキペディアにゃウン」vol.4【主催:こまねこまつり】
- 11月 丹後町・「ウィキペディアタウン宇川」vol.3【主催:宇川スマート定住促進会議】

このほか、網野町で月1回、峰山町で1~3月まで週1回の非公開編集相談会「ET(エディタン)ぷち」を開催



(左) ウィキペディアタウン史上初!? カヌーで見どころを巡るまちあるき
(右) 漁業組合の協力で、伝統のアユ漁を実演いただいた、宇川
捕れたアユは参加者で持ち帰り、美味しくいただきました。

- 1月 丹後町「ウィキペディアタウン宇川」vol.4 【主催:宇川スマート定住促進会議】
- 5月 大宮町「ウィキペディアタウンin 周枳」 【つねよし百貨店希望研修】
- 6月 大江町毛原「ウィキペディア勉強会」vol.1 (参加協力)
- 6月 大江町毛原「ウィキペディア勉強会」vol.2 (参加協力)
- 7月 大江町毛原「ウィキペディア勉強会」vol.3 (参加協力)

editTango 2022 (1~7月)

公募企画 5回 その他 7回

(今後の予定)

- 9月10日 弥栄町「ウィキペディアタウンin 和田野」
- 10月16日 大江町毛原「ウィキペディア勉強会」vol.4 (参加協力)
- 10月23日 峰山町「ウィキペディアにゃウン」vol.5 【主催:こまねこまつり】

このほか、網野町で月1回程度、「ET(エディタン)ぷち」を開催



(左)わずか12世帯の毛原集落
(右)全戸にウィキペディア勉強会を知らせる「毛原新聞」

2022.7月号 けはらしAnSu

毛原新聞 7月号

第三回ウィキペディア勉強会開催
七月三日(日) 線儀集落会場

毛原では、峰山地区研修会、毛原地区の支援活動等、今年度より、防犯対策に取組むこととし、六月四日に、第一回ワークショップを開催しました。事前に赤外線カメラを設置して、夜間の生物観察を行った。ワークショップでは、毛原地区の現状や、今年度の活動計画について、関係者から意見を伺い、今後の活動計画について話し合いました。ワークショップは、七月四日(月)午後二時から、毛原地区の線儀集落で開催されました。

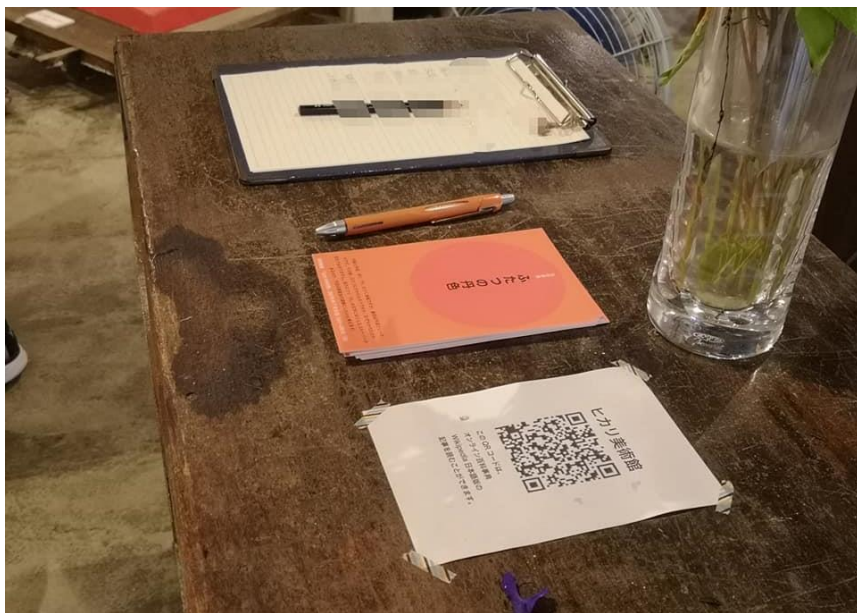
毛原地区、峰山地区研修会、毛原地区の支援活動等、今年度より、防犯対策に取組むこととし、六月四日に、第一回ワークショップを開催しました。事前に赤外線カメラを設置して、夜間の生物観察を行った。ワークショップでは、毛原地区の現状や、今年度の活動計画について、関係者から意見を伺い、今後の活動計画について話し合いました。ワークショップは、七月四日(月)午後二時から、毛原地区の線儀集落で開催されました。

毛原のQRコードを作成しました！お手持ちの携帯電話やスマホでQRコードを読み取り、最新の毛原情報をゲットしてください！

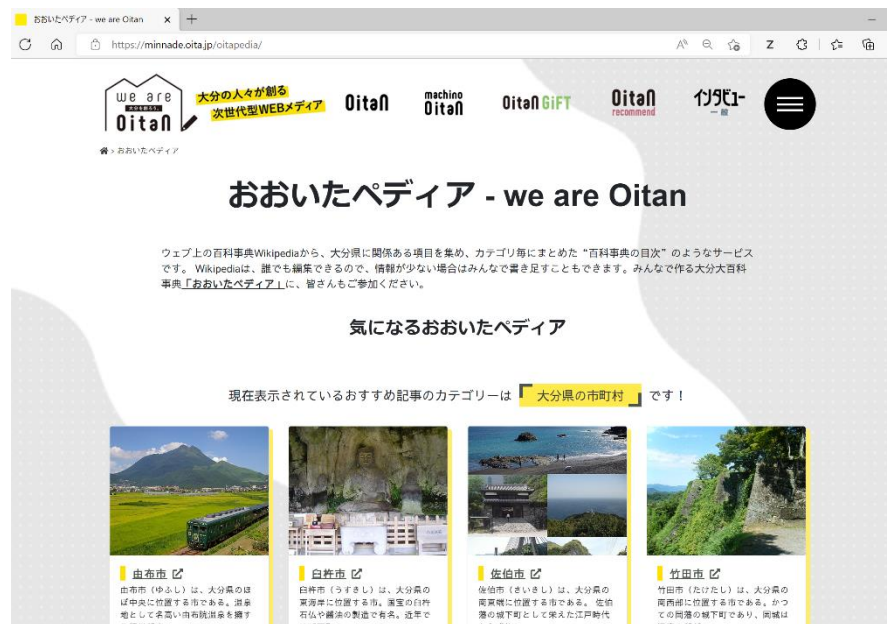
毛原のQRコードを作成しました！お手持ちの携帯電話やスマホでQRコードを読み取り、最新の毛原情報をゲットしてください！

毛原のQRコードを作成しました！お手持ちの携帯電話やスマホでQRコードを読み取り、最新の毛原情報をゲットしてください！

美術館の個展で活用されたWikipedia記事へのQRコード。
この美術館は、現地外壁にもWikipediaへのリンクを掲示している。



大分県に関するWikipedia記事を集めたWebサイト
おおいたペディア (<https://minnade.oita.jp/oitapedia/>)



日本では、2013年2月22日に横浜で最初のウィキペディアタウンが開催された。ただし、これは、“まちあるき” + “調べ学習” イベントであって、情報発信と二次的な活用以前の、Wikipedia編集者を増やすためのアウトリーチ活動として行われた。

この日本式ウィキペディアタウンは、その後全国に普及し、コロナ禍直前の2019年には年間100回以上開催。急成長期の2017年には、「地域情報資源を活用した公共情報資産の共創活動」として図書館界隈で高く評価され、Library of the Year優秀賞を受賞した。

2019年3月、裾野市の古墳の解説版に、Wikipedia記事にリンクするQRコードが貼りつけられ、これが、公式には「本来の意味でのウィキペディアタウン」の最初の例と位置付けられている。

ウィキペディアタウンの定義は だれが決めてる？

【地域】

まちおこし・コミュニケーションの活性化・情報発信

【GLAM（美術館・図書館・公文書館・博物館）】

資料の活用・職員研修

【研究者・過疎地域など、全世界的には】

アーカイブ・格差解消

【学校】

社会科見学・世代間交流・メディアリテラシーの育成



Wikipedia展覧会

2022年度 ブース

2022年11月、Wikipediaに関係する（読むだけの貴方も含む）あらゆる個人・団体が、図書館総合展に登壇する機会を作りました！

あなたがWikipediaを通して得た知識や経験を広く共有し、Wikipediaを編集してみたいと思っている個人や、ウィキペディアタウンなどWikipediaを活用した企画の開催を夢見る人々、ICT活用や情報リテラシー教育の様々な手立てを模索する学校関係者等、あらゆる人々に、一步を踏み出すちょっとしたヒントを与えるかもしれない事例と体験の機会を提供します。

[Wikipedia展覧会 | 図書館総合展 \(libraryfair.jp\)](https://www.libraryfair.jp/booth/2022/139)



出展方法は2種類

- ・テキスト(リンク集登録)
- ・ウェビナー(フォーラム)

出展者は、
少なくとも1年間
図書館総合展の広報力で
自身の活動宣伝が可能。



出展方法の詳細は
Wikipediaの
「プロジェクト:アウトリーチ
/図書館総合展2022」の
関連ページで案内します。
(作成準備中)